



平成28年度 向山保育園

6月 園だより

社会福祉法人 みのり福祉会
 向山保育園
 鳥取県倉吉市和田東町向山917
 TEL (0858) 23-0836 Fax (0858) 23-0839
 E-mail:m.hoi@rice.ocn.ne.jp

園生活にすっかり慣れてきた子ども達。これからは園庭で、手や足を泥だらけにし、水に触れながらダイナミックな遊びをどんどんしていきたいと思います。梅雨の季節ならではの保育を楽しみます。

親子遠足 楽しかったね



行事予定	
1(水)	衣替え なかよし集会 歯科検診 北栄ひまわり交流会(はと組)
2(木)	交通安全指導 オープンデー
3(金)	
4(土)	保育参観日
5(日)	
6(月)	個人別懇談会
7(火)	満菜館 田植え(はと組) 小満足(うぐいす組)
8(水)	笹取り(はと組)
9(木)	ちまき作り(はと組) オープンデー
10(金)	避難訓練 歯みがき指導
11(土)	田植え(はと組親子)
12(日)	
13(月)	お誕生会
14(火)	小遠足(はと組、ひばり組)
15(水)	身体測定 みのりサングリーン交流会(ひばり組)
16(木)	お茶会(はと組) オープンデー
17(金)	
18(土)	
19(日)	三園保護者球技会(ドッチビー)
20(月)	
21(火)	マラソン大会
22(水)	サンジュエリー交流会(はと組)
23(木)	プール開き 三朝みのり交流会(はと組)
24(金)	
25(土)	そうめん流し(親児の会)
26(日)	
27(月)	
28(火)	
29(水)	こごしデー
30(木)	園便り、給食便り発行

今月のめあて

- ☆手洗い・うがいをしっかりしましょう。
- ☆歯を毎日みがきましょう。
- ☆砂遊び、泥んこ遊びを楽しみましょう。

6月は歯の大切さを考える機会にしたいですね。園でも、歯磨きやうがいをし、口の中を清潔にするよう、子どもたちに伝えています。ご家庭でも歯磨きの習慣をつけていきましょう。

はと組	戸外でかけっこ、マラソン、リレー等、毎日驚くほど元気に走り回って遊んでいます。少しずつ夢太鼓のリズムを覚え、和太鼓の練習を張り切ってしています。だんだんと力強い音が響くようになってきました。
うぐいす組	畑の草取りや苗植えを通して野菜の成長を楽しみにしている子ども達です。七夕まつりに向けてマーチングのリズムを口ずさんだり、マット打ちもしています。練習カードを持ち、自主練習も喜んでしていますよ。
ひばり組	菜園活動を始め、毎日お番さんが水やりを頑張っています。あさがおの芽が出ていることや小さなトマトの実がついていることを発見し、嬉しさを感じている子ども達です。今月は鍵盤ハーモニカに触れながら、七夕まつりに向けて取り組みます。
うさぎ組	天気のいい日には戸外に出て、毎日プチトマトとキュウリの水やりをしています。梅雨の時期に入りますが、しっかりと体を動かして、友達や保育者と一緒にたくさん遊んでいきたいと思ひます。
りす組	天気の良い日にはトマトとキュウリに「大きくなあれ」と言いながら水やりをしています。今月は雨の降る日が多くなると思ひますが、室内でも十分に体を動かし、元気いっぱい遊びます。

★参観日★

○日時：6月4日(土)
 ○場所：保育園各保育室

参観日では子ども達の園での姿を見ていただきたいと思ひます。どんなことに頑張っているのかな?どんなふう遊んでいるのかな?お子さんが張り切っている姿や、頑張っている姿など、子どもたちのいきいきした表情をぜひご覧ください。

参観終了後、保護者勉強会をします。

講師の方を招き、絵本の読み聞かせをしたり、クッキングをしたり楽しい会を計画していますのでたくさんご参加ください。



★プール開き★

○日時：6月23日(木)

プール遊びに向けて、顔を水につけられるよう、3歳以上児は洗面器を使つての水慣れをしていきます。

はと、うぐいす、ひばり組はプールバックにフェイスタオルと洗面器を入れて、6月6日(月)までに持って来ください。

◎プール開きまでに水着と水泳帽も用意しておいてください。

★そうめん流し★

○日時：6月25日(土) 10時30分～

○場所：向山保育園駐車場

○主催：向山保育園親児の会

今年も「親児の会」主催のそうめん流しです。たくさんの方がご参加くださり、おいしいそうめんを食べて楽しんでください。どなたでも参加できます。



★お願い★

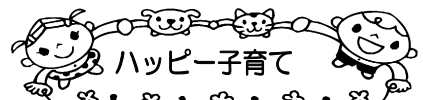
- 汗をかきやすい時期ですので、着替えを多めをお願いします。
- 6月から、衣替えです。半袖の園児服を着てきましょう。ベレー帽は、かぶらなくてもいいです。(暑くなるため)お家で保管してください。



和太鼓の練習も頑張っています!



大きくなあれ!



「ありがとう」「助かったよ」「うれしいよ」
 という言葉をどんどん使ひましょう

大人は、子どもには「ありがとう? ありがとうは?」と、よく求めます。しかし、大人から子どもに「ありがとう」と言うことは案外、少ないのではないのでしょうか。

「子育てハッピーエッセンス100%」 明橋大二/著より